

研究交流フォーラム2000へようこそ!



全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラムも3回目を迎え、
今年も全国からさまざまな立場の方々の参加をいただき、
誠にありがとうございます。

今回も、各地の宅老所・グループホームの実践報告をはじめ、
研究報告、各地の取り組みなど2日間盛りだくさんの、
バージョンアップしたメニューで皆さんをお迎えいたします。
交流を深め、有意義な2日間をお過ごしください。

実行委員会 事務局



講師から、本フォーラムの見どころ、聞きどころをご紹介します

19日 『痴呆性老人介護に関する 調査研究報告』

日本のグループホームは、いま試運転期間を終えて、本格的な普及時代に入ったと言っているでしょう。そこで、今後、日本のグループホームはどうあるべきか、どのようなビジョンを持ってグループホームを作り、運営していったらいいのか、そのひとつの指針となる研究が一昨年から昨年にかけて行われました。その成果が、厚生省の委託のもとに行われた「痴呆性老人介護に関する調査研究—グループホーム班」の報告書、「痴呆性高齢者のグループホームの将来ビジョン」(医療経済研究機構)です。今回、その報告書が、スウェーデンのグループホーム視察報告を含めて、単行本として出版されました。それが、「グループホーム読本—痴呆性高齢者ケアの切り札」(外山義編、ミネルヴァ書房)です。このセッションでは、代表の外山先生に基調報告をしていただいた後、本書の読みどころ、見どころ、キーポイントを執筆者を交えて語り合うことにしました。痴呆性高齢者ケアの切り札として、グループホームと宅老所のあり方が明らかにされます。

(文責：高橋誠一)

20日 『役割が多様化する 宅老所・グループホームの これからを語る』

介護保険目前。ここまできたら、今度はじっくり構えて先を読むことのほうが大切ではないでしょうか。介護保険下では、これまで隠されていたり重められていた利用者のニーズがどんどん顕在化してくるでしょう。また、そうならなければ、何のための介護保険か、とも言えるのではないのでしょうか。そして、ニーズが顕在化するに際して、宅老所やグループホームに期待される役割も多様化してくるでしょう。これまでの短い歴史を見ても、宅老所・グループホームは新たなニーズに答えるイノベーター(革新者)でした。そこでこのセッションでは、今後どのようなニーズや期待があり、それらに対して宅老所・グループホームはどのように答えていけるのか、すなわち宅老所・グループホームの潜在能力を検証したいと思います。パネラーは、宅老所・グループホームの実践者とその分野に深くかかわってきた行政担当者です。

(文責：高橋誠一)

20日 『対象のバリアをこえた ディスカッション』

富山県の「このゆびと〜まれ」の実践を中心に、高齢者だけでなく、障害者も子どもも利用可能な「利用者のバリアフリー型」の地域ケアのあり方を考える。痴呆対応の新たなケアのあり方を切り開いてきた宅老所のなかで、地域福祉の時代を迎え、1つの動きとして「バリアフリー型」が目ざされてきている。それは「共生型」とでも表現されている宅老所の取り組みである。「このゆびと〜まれ」では、児童：障害：高齢の割合が3：3：4なのである。惣万さんはその状況を「混合」型ではなく、「自然」型と表現している。富山県や富山市は、こうした地域実践の蓄積を踏まえ、「バリアフリー型」の補助事業を作り出してきた。他方、障害者分野や児童分野においても、こうした「共生型」への共感がはじまっている。滋賀県下で取り組まれている甲賀郡の「地域生活支援センター」や大津市の湘南学園の実践をもとに、住民参加・多機能・地域密着をキーワードに「共生型」の新たなケア実践を展望する。

(文責：平野隆之)

本フォーラムで初お目見えの新刊情報!本売り場で手にとってご覧ください。

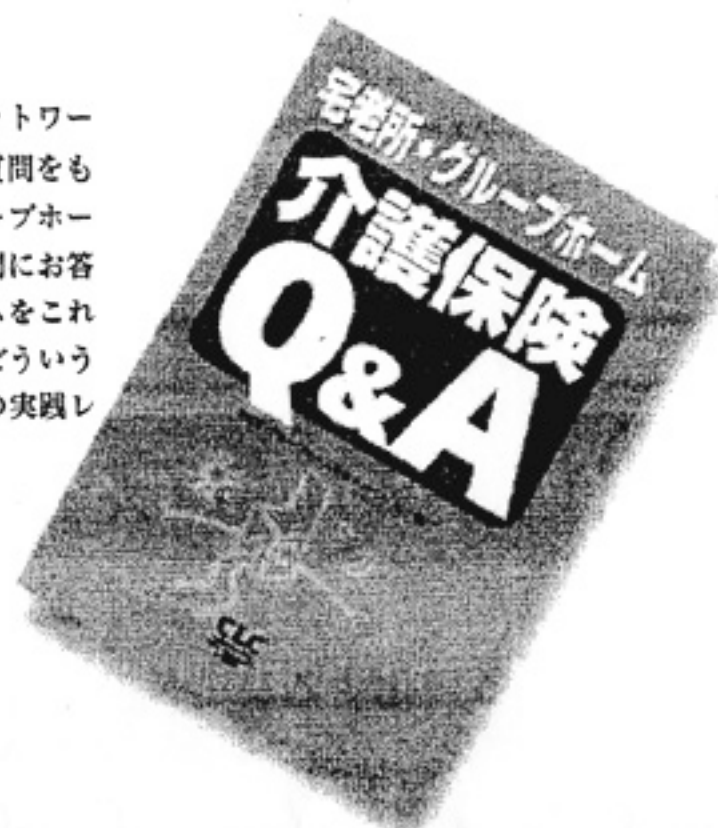
宅老所・グループホーム 介護保険Q&A

●宅老所・グループホーム全国ネットワークに寄せられた介護保険に関する質問をもとに、介護保険下で宅老所・グループホームはどうなるの?という素朴な疑問にお答えします。宅老所・グループホームをこれから始めたい方、介護保険ってどういうもの?という方、必携の書。全国の実践レポートにも注目。

A5判・80頁・1,100円+税

発行 CLC

発売 筒井書房



痴呆性老人研究 第2号

『これからの宅老所・ グループホーム』

●地域高齢者福祉の重要な拠点となるであろう宅老所・グループホームの分類と役割、現状と今後を探る。

B5判・144頁・1,600円+税

発行 CLC

発売 筒井書房

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2000」各県別所属先分類一覧表

県名	累計値	01・宅老所	02・デイ	03・ヘルパー	04・在宅介護	05・特養	06・老健	07・病院	08・施設	09・行政	10・企業	11・研究者	12・福祉	13・その他	14・未記入
北海道	26	4	3	1	0	3	1	0	1	3	2	0	0	7	0
青森県	39	2	2	0	1	9	3	4	0	18	1	0	0	0	0
岩手県	31	5	4	4	4	5	1	0	0	0	3	0	0	2	3
宮城県	105	19	3	2	7	10	4	6	18	14	2	6	0	11	3
秋田県	40	5	2	1	0	14	8	1	1	1	0	1	0	6	0
山形県	24	5	0	0	0	1	9	1	1	2	0	0	0	5	0
福島県	26	3	1	2	1	0	7	4	1	2	0	0	0	5	0
茨城県	34	0	3	0	0	23	1	0	1	5	0	0	0	0	0
栃木県	42	20	5	0	0	2	3	0	3	3	0	2	0	3	1
群馬県	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
埼玉県	23	1	5	1	1	4	0	3	0	1	4	0	0	1	2
千葉県	22	2	2	2	5	2	2	2	1	2	2	1	0	0	0
東京都	46	8	5	0	1	11	0	1	1	0	3	5	2	6	1
神奈川県	25	7	7	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	7	0
山梨県	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
長野県	11	2	0	0	0	0	3	1	0	3	0	0	0	2	0
新潟県	20	1	4	1	0	1	9	0	0	4	0	0	0	0	0
富山県	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
石川県	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	14	0	1	0	2	2	0	1	5	1	0	0	0	0	1
静岡県	19	2	2	0	1	4	1	3	2	0	0	0	0	3	0
愛知県	31	11	1	0	1	2	3	1	0	1	0	1	0	8	2
三重県	17	0	0	0	3	2	1	0	9	1	0	0	0	0	1
滋賀県	23	5	4	2	1	1	0	1	1	4	1	0	0	0	0
京都府	17	1	5	0	0	3	3	3	2	0	0	0	0	0	0
大阪府	25	1	0	4	1	4	0	4	2	0	4	0	0	2	0
兵庫県	25	7	1	0	0	6	0	0	4	0	1	5	0	1	1
奈良県	10	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
和歌山県	3	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	7	0	0	0	0	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0
島根県	4	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
岡山県	15	2	1	0	0	0	6	2	0	2	0	1	0	1	0
広島県	13	5	1	0	0	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0
山口県	14	3	1	1	1	2	1	0	1	3	0	0	0	0	1
香川県	8	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	3	0
徳島県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	26	6	3	1	0	2	1	2	0	1	0	0	0	12	0
佐賀県	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	9	1	2	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	1	0
熊本県	25	6	0	0	1	5	4	6	0	3	0	0	0	0	0
大分県	7	0	2	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0
宮崎県	11	0	0	0	0	2	0	0	0	8	0	0	0	1	0
鹿児島県	8	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
沖縄県	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	876	153	77	22	31	141	80	47	66	93	26	22	3	99	18